

厚生労働省岩手労働局発表

令和4年11月11日（金）

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課

課長 若月 敏幸

課長補佐 瀧 磯 寿

（電話） 019-604-3007

令和4年1月～10月分（速報値）の  
労働災害発生状況を公表します

～死亡者数、死傷者数ともに引き続き前年同期を上回る水準で推移～

岩手労働局（局長 いなはら としひろ 稲原 俊浩）は、令和4年1月～10月の県内の全業種における労働災害による死傷者数（休業4日以上）及び死亡者数の状況を取りまとめました。

- 1 令和4年1月～10月の死傷者数（10月末現在の速報値）は1,482人で、前年同期比で348人（30.7%）の増加、死亡者数は16人となり、前年同期比で2人の増加となっています。
- 2 業種別の災害発生状況等の詳細については、別添のとおりとなっています。

年末年始は労働災害が多く発生する傾向がみられ、その要因として積雪や凍結に起因する転倒災害や交通労働災害など「冬季特有災害」の発生リスクが高まることがあげられます。

これらの状況を踏まえ、岩手労働局では例年実施しております、「いわて年末年始無災害運動」を本年も展開するとともに、労働局長パトロールを通じて機運醸成を図ってまいります。



## I 令和4年（1月～10月）の労働災害発生状況（令和4年10月末現在の速報値）

### 1 死傷災害（休業4日以上） 【表1】(P. 3)、【グラフ1】、【グラフ2】(P. 6)、【参考3】(P. 9)

#### (1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,482人で、前年同期比で348人（30.7%）増加となっています。

#### (2) 業種別の状況[大分類]

- ① 前年同期比で増加数の多い順に、「保健衛生業」386人（前年同期比+266人、+221.7%）、  
「製造業」290人（同+34人、+13.3%）、「運輸交通業」143人（同+26人、+22.2%）、「商業」165人（同+25人、+17.9%）、「通信業」24人（同+4人、+20.0%）、「農林業」52人（同+3人、+6.1%）、となっています。
- ② 前年同期比で同数が、「畜産水産業」55人（前年同期比±0人、±0%）と「接客娯楽業」57人（同±0人、±0%）となっています。
- ③ 前年同期比で減少数の多い順に、「建設業」181人（前年同期比-10人、-5.2%）、「鉱業」6人（同-2人、-25.0%）となっています。

#### (3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、389人（26.2%）となっています。次いで、「墜落・転落」162人（10.9%）、「はさまれ・巻き込まれ」129人（8.7%）、「動作の反動・無理な動作」123人（8.3%）、「切れ・こすれ」74人（5.0%）、以下「激突」65人（4.4%）、「激突され」64人（4.3%）、次いで「飛来・落下」59人（4.0%）と「交通事故（道路）」59人（4.0%）が同数となっています。

なお、【グラフ2】の「その他（上記以外）」の358人のうち、新型コロナウイルス感染症によるものが301人となっています。

### 2 死亡災害 【表2】、【表3】(P. 4、5)

#### (1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は16人で、前年同期（10月末日までに報告のあった件数）と比べ2人の増加となりました。

#### (2) 業種別の状況

業種では、「建設業」が5人、「林業」が3人、「製造業」と「商業」が各2人、「運輸交通業」が1人、「その他」が3人となっています。

## II 令和4年1月～10月の労働災害発生状況を踏まえた取組みについて

### 1 死傷災害の発生状況について

死傷災害は引き続き前年同期を上回る状況で推移しています。新型コロナウイルス感染症による労働災害も前月から80人の増加となっています。

例年、年末年始は特に1月を中心に労働災害が多発する傾向にあります。その中でも積雪や凍結による転倒災害や交通労働災害など、冬季特有の気象条件に起因する「冬季特有災害」の発生リスクが高まることから、これらの状況を踏まえ、岩手労働局は例年実施しております、「いわて年末年始無災害運動」を積極的に展開するとともに労働災害防止団体等が行う年末年始無災害運動との連携を深め、新型コロナウイルス感染症の対策の推進に配慮しつつ、冬季特有災害の防止を推進してまいります。

## 2 死亡災害の多発を踏まえた対応について

死亡労働災害については、前月に引き続き10月も新たな報告はありませんでしたが、依然として前年同期を上回る状況で推移しています。

岩手労働局では、集中的な監督指導の実施による事業場の安全管理の促進を図るほか、労働局長による安全パトロールの実施を通じて年末年始の労働災害防止の機運醸成を図ってまいります。

# 冬季特有災害を防止しよう！

## 1 積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止

- 事業場の敷地図等に積雪・凍結しやすい場所を記入した転倒危険マップ等を作成・掲示し、転倒リスクの見える化を図る。
- 事務所・工場等の出入口付近、駐車場、通路、作業箇所の積雪・凍結防止のための囲いの設置、除雪、融雪措置の徹底。
- 工事現場の外部足場、事業場建屋の外階段等の雪の吹き込み防止用ネット等の設置。
- 滑り難い靴等の着用徹底。
- 作業時のヘルメットの着用。

## 2 車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止

- スタッドレスタイヤ、降雪用ワイパーなどの早めの交換。
- 余裕を持った車両運行計画の作成。
- 速度を控え、早めブレーキ、急ハンドル・急ブレーキ回避の徹底及び十分な車間距離の確保。
- 橋上・トンネル出入口・日陰部分等の速度控えの徹底。
- ブラックアイスバーンを予測した運転。※
- 運転席を離れる際の車輪止めの設置。

# 冬季の転倒災害を防止しよう！

(「STOP! 転倒災害プロジェクト」の推進)

こんな場所等は  
転倒災害防止への  
注意が必要!!

- 人や車の出入りにより積雪が踏み固められた通路
- 段差や傾斜のある通路
- 濡れたタイル張りの床
- 凍結面の上に雪が積もった路面



【表1】

## 令和4年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和4年 1月～10月

岩手労働局

業種	岩手局			盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	令和4年	令和3年	増減数 増減率							
製造業	食料品	41 (3)	20 (3)	21 105.0%		2 (1)	5 (1)		32 (1)	2
	水産食料品	85 (30)	80 (26)	5 6.3%	34 (9)	1 (1)	1	20 (8)	8 (2)	10 (5)
	繊維・衣服その他繊維製品	7 (3)	9 (2)	-2 -22.2%	2			3 (2)	1	1 (1)
	木材・木製品、家具・装備品	33 (6)	29 (6)	4 13.8%	6 (1)	6 (1)	5 (1)	6 (1)	2 (1)	7 (1)
	パルプ・紙、印刷・製本	6 (1)	9 (2)	-3 -33.3%	3			2 (1)	1	
	化学工業	16 (3)	14 (1)	2 14.3%	2	1	① 3	7 (3)	1	1
	窯業土石	10 (3)	20 (2)	-10 -50.0%				4 (2)	2	3 (1)
	鉄鋼業、非鉄金属	8 (1)	① 15 (1)	-7 -46.7%	1	2			5 (1)	
	金属製品	25 (6)	19 (5)	6 31.6%	3	2	1	13 (3)	4 (1)	1 (1)
	一般機械器具	18 (7)	17 (5)	1 5.9%			6 (2)	11 (5)	1	
	電気機械器具	17 (8)	10 (2)	7 70.0%		2 (1)		14 (6)	1 (1)	
	輸送用機械製造	9 (4)	5 (3)	4 80.0%			1	7 (4)	1	
	電気・ガス	3 (2)	1 (1)	2 200.0%				2 (1)	1 (1)	
その他の製造	12 (5)	8 (2)	4 50.0%	6 (3)			4 (2)	1		
小計	290 (80)	① 256 (61)	34 13.3%	57 (13)	16 (4)	① 22 (4)	① 93 (37)	31 (9)	48 (5)	23 (8)
鉄業	6 (3)	① 8 (2)	-2 -25.0%	3 (1)	2 (1)				1 (1)	
建設業	土木工事	44 (6)	⑤ 67 (12)	-23 -34.3%	12 (2)	③ 8	2 (1)	9 (1)	6	4 (1)
	鉄骨・鉄筋家屋	25 (4)	① 18 (2)	7 38.9%	7 (1)	2	2 (1)	9 (2)	3	2
	建築	42 (2)	43 (4)	-1 -2.3%	10 (1)	5	1	11	2	8 (1)
	木造家屋	45 (6)	① 37 (4)	8 21.6%	22 (1)	1	1 (1)	12 (2)	① 3	6 (1)
	その他の建築工事	25 (4)	26 (3)	-1 -3.8%	① 7 (1)	1	2	7 (2)	1	3
	その他の建設	181 (21)	⑦ 191 (25)	-10 -5.2%	① 58 (6)	③ 17	8 (3)	48 (7)	① 15 (1)	12 (1)
	小計	118 (31)	97 (18)	21 21.6%	44 (13)	2	5 (1)	36 (10)	① 14 (4)	6
	道路貨物運送業	25 (18)	20 (10)	5 25.0%	14 (10)	2 (2)	2 (1)	5 (3)	1 (1)	1 (1)
	その他の運輸交通業	3 (2)	3 (2)	0 0.0%	2 (1)				1 (1)	
	貨物取扱	13 (4)	15 (2)	-2 -13.3%	2	1		8 (4)	2	
運輸交通業	農業	39 (2)	④ 34 (4)	5 14.7%	8	2	3	① 7	3	② 11 (2)
	林業	43 (5)	48 (7)	-5 -10.4%	9 (2)		3	12	5	11 (3)
	畜産業	12 (2)	7 (1)	5 71.4%		5 (1)	2 (1)		1	4
	水産業	123 (60)	110 (61)	13 11.8%	53 (21)	4 (3)	7 (4)	① 37 (22)	9 (5)	8 (5)
	小売業	42 (13)	30 (11)	12 40.0%	22 (7)	2 (1)	3 (1)	11 (3)	1 (1)	3
	その他の商業	24 (13)	20 (7)	4 20.0%	4 (2)	4 (3)	2 (1)	7 (6)	2 (1)	3
	社会福祉施設	253 (39)	98 (39)	155 158.2%	74 (14)	7 (2)	23 (3)	65 (14)	47 (3)	33 (2)
	その他の保健衛生業	133 (18)	22 (10)	111 504.5%	99 (8)	1	3 (2)	19 (4)	9 (2)	2 (2)
	旅館業	28 (14)	12 (7)	16 133.3%	14 (8)	4 (3)		6 (2)	3 (1)	
	飲食店	7 (3)	① 18 (7)	-11 -61.1%	15 (3)	3 (1)		4 (2)		
その他	その他の接客娯楽業	39 (28)	32 (15)	7 21.9%	21 (16)		6 (2)	9 (8)	2 (1)	1 (1)
	ピルメナテナス業	81 (27)	86 (34)	-5 -5.8%	31 (9)	① 7 (3)	① 2	24 (10)	4 (2)	① 11 (3)
	その他(上記以外の全ての業種)	1,482 (389)	⑩ 1,134 (330)	348 30.7%	① 535 (136)	④ 79 (24)	② 91 (23)	③ 392 (133)	② 149 (32)	① 92 (9)
	合計			348	④ 432 (133)	③ 71 (17)	64 (20)	② 272 (80)	② 113 (33)	③ 63 (19)
				103		8	27	120	36	25
			23.8%		11.3%	42.2%	44.1%	31.9%	46.0%	21.0%

(注) 令和4年は令和4年10月末の速報値、令和3年は令和3年10月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。

○内は転倒災害者数(内数)です。

【表2】

## 令和4年 死亡災害発生状況（令和4年10月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	宮古	建設業 (砂防工事業)	1月	金	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	砂防ダム工事現場内の林道上で停車していたドラグ・ショベルと4トンダンプの間で、ダンプの運転手と打ち合わせをしていた被災者が、旋回してきたドラグ・ショベルのカウンターウェイトとダンプの車体に挟まれて死亡したものの。
2	花巻	農林業 (木材伐出業)	2月	水	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	崩壊・倒壊	立木等	スギの間伐現場において、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていた被災者が、倒木に挟まれた状態で倒れているところを、同僚が発見し、搬送先の病院で死亡が確認されたものの。
3	花巻	商業 (その他の小売業)	2月	月	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	被災者が運転する車がトンネル内で対向車線へはみ出し、対向車線を走行していた乗用車と正面衝突し、被災者が死亡したものの。
4	大船渡	商業 (燃料小売業)	3月	土	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	おぼれ	水	給油トラックで船の給油に出かけた被災者が帰社せず連絡も取れないため、同僚が給油場所へ確認に行ったところ、海に浮かんでいた被災者を発見、その後、死亡が確認されたものの。
5	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	3月	水	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊・倒壊	地山・岩石	建設工事現場において、地中電線を埋設するため被災者が溝の中で作業していたところ、掘削溝の法面が崩壊し、被災者が土砂に埋まり、その後、死亡が確認されたものの。
6	二戸	その他の事業 (その他)	3月	木	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (その他)	その他の乗物	被災者を含む3名が乗船した漁船が沖合で転覆し、被災者は海上で発見されたが、その後、残りの2名を含め死亡が確認されたものの。
7	釜石	教育研究業 (その他の教育研究業)	3月	木	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (その他)	その他の乗物	被災者を含む3名が乗船し出港した漁船が沖合で転覆し、被災者は海上で発見されたが、その後、残りの2名を含め死亡が確認されたものの。
8	釜石	製造業 (プラスチック製品製造業)	3月	土	男	60歳代 (1年未満)	飛来・落下	その他の一般動力機械	FRPタンクの製造工程において、FRP繊維をドラムに巻付け後、ドラムを回転させながら乾燥させていたところ、回転軸のシャフトが折れ、タンクの下にいた被災者に落下し、死亡したものの。
9	宮古	その他の事業 (その他)	4月	金	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	交通事故 (その他)	その他の乗物	単独で監視船に乗船して監視業務を行っていた被災者と連絡がつかなくなり、捜索したところ、転覆して海上に浮いていた監視船と海底で溺死している被災者が発見されたものの。
10	宮古	建設業 (その他の土木工事業)	4月	火	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	飛来・落下	整地・運搬・積込み用機械	被災者が資材置場でドラグ・ショベルを用いて吊り上げていた金属製の円柱型の管が運転席付近に落下し、被災者が運転席と管との間に挟まれて死亡したものの。
11	宮古	建設業 (砂防工事業)	4月	木	男	70歳代 (1年未満)	飛来・落下	立木等	砂防堰堤新設に伴う林道架替工事において、立木を伐倒中、受け口を作り、追い口を入れている途中、追い口部分から縦に立木が裂け、被災者が落下した幹に激突されたものの。
12	二戸	農林業 (木材伐出業)	5月	金	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	立木等	アカマツの間伐現場において、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていた被災者が、伐倒木の横で倒れているところを、同僚が発見し、搬送先の病院で死亡が確認されたものの。

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
13	一関	建設業 (その他の建築工事業)	6月	木	男	70歳代 (40年以上 50年未満)	墜落・転落	足場	被災者が住宅の屋根の塗装作業を足場上で行っていたところ、足場の外側の地面に墜落し、その後死亡したものの。
14	花巻	製造業 (製材業)	6月	火	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	火災	木材、竹材	おが屑貯蔵用サイロの上部の煙突から発煙していたため、サイロの下部の取出口の真下に運搬車を設置し、被災者2名が荷台に乗り、荷台の上で長い棒で取出口を突いておが屑を落としていたところ、取出口から突然炎が噴き出し、被災者2名のうち1名が全身火傷により死亡したものの。
15	二戸	農林業 (木材伐出業)	7月	月	男	70歳代 (1年未満)	激突され	立木等	杉の立木を伐倒しようとしたところ、別の杉の立木につるがらみして倒れなかったため、伐木等機械でつかみ伐倒したところ、つるが別の赤松の立木にもからんでおり、当該赤松の立木が折れ被災者に激突したものの。
16	一関	運輸交通業 (道路貨物運送業)	7月	木	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	被災者がトラックで道路を走行していたところ、対向車線を走行していた大型トラックがセンターラインを超え、被災者が運転するトラックと正面衝突し、被災者はその後死亡したものの。

【表3】

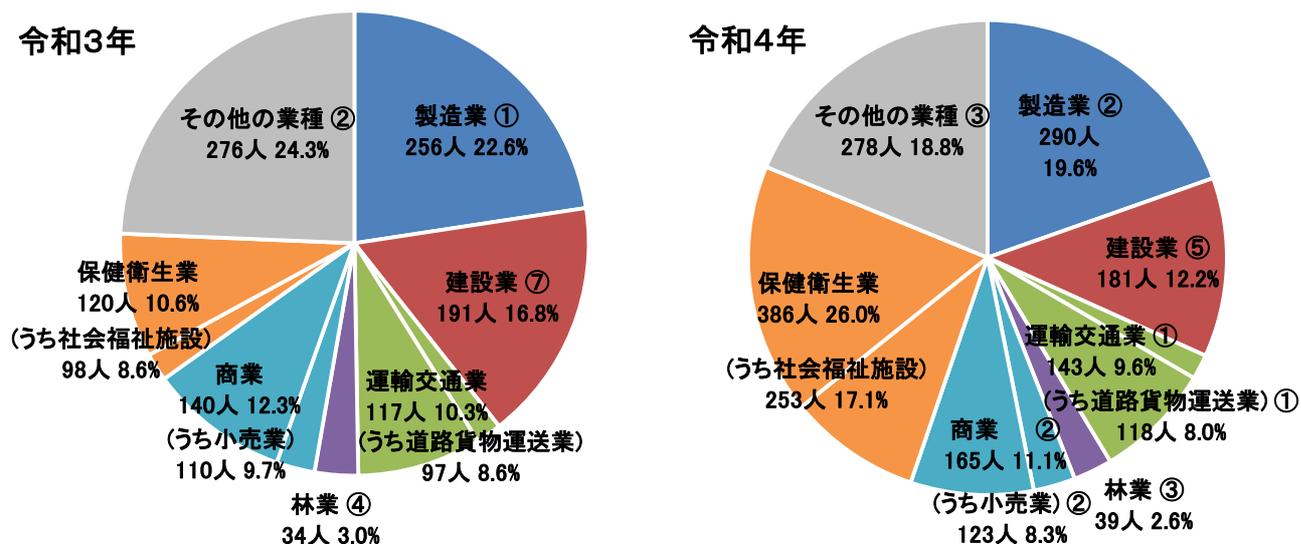
令和4年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

（令和4年10月末日現在）

業種別	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	林業	商業	左記以外	16人 (前年同期14人)
	2人 (1人)	0人 (1人)	5人 (7人)	1人 (0人)	3人 (4人)	2人 (0人)	3人 (1人)	
監督署別	盛岡	宮古	釜石	花巻	一関	大船渡	二戸	
	1人 (4人)	4人 (3人)	2人 (0人)	3人 (2人)	2人 (0人)	1人 (2人)	3人 (3人)	
事故の型別	墜落・転落	転倒	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	
	1人 (5人)	0人 (1人)	3人 (0人)	2人 (1人)	2人 (2人)	1人 (1人)	0人 (0人)	
	破裂	高温・低温の物との接触	激突	感電	有害物等との接触	交通事故(道路)	その他	
	0人 (0人)	0人 (1人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (1人)	2人 (2人)	5人 (0人)	

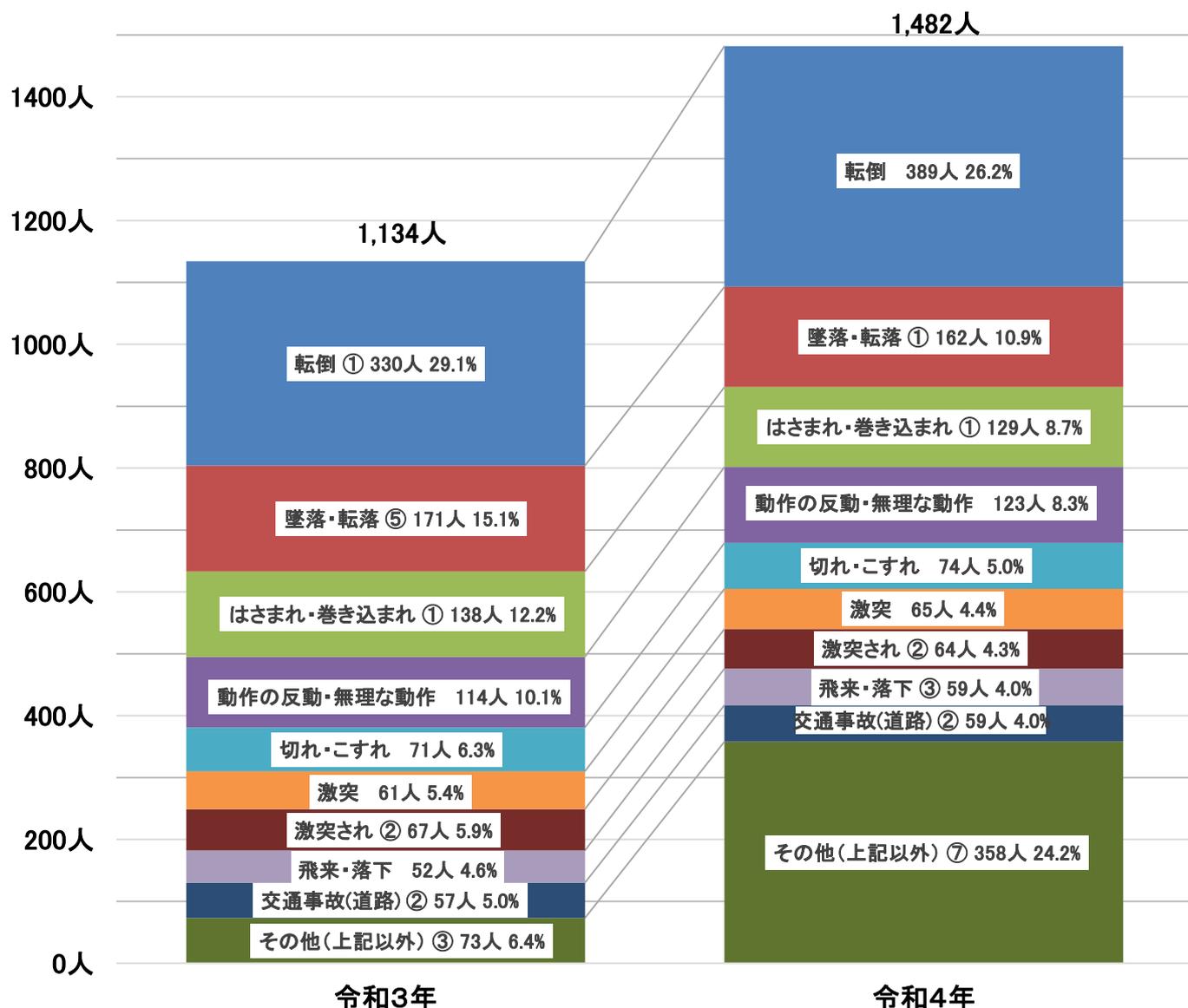
注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】 令和3年・令和4年 業種別労働災害発生状況[1月～10月]\*



\* 令和3年は令和3年10月末の速報値、令和4年は令和4年10月末の速報値

【グラフ2】 令和3年・令和4年 事故の型別労働災害発生状況[1月～10月]\*



○内は死亡者数(内数)です。

\* 令和3年は令和3年10月末の速報値、令和4年は令和4年10月末の速報値

【参考1】

令和4年1月～10月

令和4年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	前年同期増減数	前年同期増減率	月別発生状況													
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
製造業	食料品	41 (3)	20 (3)	21	106.0%	2	21	3 (1)	3 (1)	7	1 (1)	1	1	1	1	1	1	1
	水産食料品	85 (30)	80 (26)	5	6.3%	8	12 (6)	6 (1)	10 (2)	6 (2)	9 (3)	7 (2)	11 (3)	9 (4)	7 (2)			
	上記以外の食料品	7 (3)	9 (2)	-2	-22.2%		3 (1)	1 (1)					1 (1)					
	繊維・衣服その他繊維製品	① 33 (5)	29 (6)	4	13.8%	5 (2)	2	1	4	① 5	① 5	1 (1)	8	2 (1)	5 (1)			
	木材・木製品、家具・装備品	6 (1)	9 (2)	-3	-33.3%	1 (1)		1	2			1		1				
	パルプ・紙、印刷・製本	① 16 (3)	14 (1)	2	14.3%	4 (2)	4 (1)	① 1	1	1	1	1	2	2				
	化学工業	10 (3)	20 (2)	-10	-50.0%	2 (2)		1	1	1	1	3	1 (1)	1	1	1		
	窯業・土石	8 (1)	① 15 (1)	-7	-46.7%	1	1	3				1	1 (1)	1				
	鉄鋼業、非鉄金属	25 (5)	19 (6)	6	31.6%	4 (1)	2	1 (1)	1 (1)	2	3	7 (1)	4	1 (1)				
	金属製品	18 (7)	17 (5)	1	5.9%	7 (4)	3 (2)	3	1	2	3	2 (1)						
建設業	一般機械器具	17 (8)	10 (2)	7	70.0%	4 (4)	4 (2)	1	1	2	2	2	1 (1)	2 (1)				
	電気機械器具	9 (4)	5 (3)	4	80.0%	6 (3)		1	1	1	1 (1)							
	輸送用機械製造	3 (2)	1 (1)	2	200.0%	1 (1)							1					
	電気・ガス	12 (5)	8 (2)	4	50.0%	4 (2)	1 (1)	1	1	1	1	1	4 (2)					
	その他の製造	② 290 (80)	① 256 (61)	34	13.3%	49 (28)	53 (12)	① 21 (4)	26 (4)	20 (2)	① 28 (5)	25 (7)	33 (7)	20 (7)	15 (4)			
	小計	6 (3)	① 8 (2)	-2	-25.0%	1 (1)	1 (1)		② 1	3	6		3 (1)	2	1			
	土木工事	③ 44 (6)	⑤ 67 (12)	-23	-34.3%	① 5 (2)	7 (1)	7 (2)	② 4	3	2	2	2	4	3			
	鉄骨・鉄筋家屋	25 (4)	① 18 (2)	7	38.9%	4 (1)	3 (1)	3	1	5 (1)	2	2		3	2 (1)			
	木造家屋	42 (2)	43 (4)	-1	-2.3%	7 (1)	3	4 (1)	3	1	2	4	11	6	1			
	その他の建築工事	① 25 (4)	① 37 (4)	8	21.6%	3 (1)	3 (1)	6 (1)	5 (1)	4	① 5	6 (1)	5	5 (1)	3			
運輸・交通業	その他の建設	① 25 (4)	26 (3)	-1	-3.8%	4 (1)	3 (2)	① 4	5	1	3 (1)	2	1	1				
	小計	⑤ 181 (21)	⑦ 191 (25)	-10	-5.2%	① 23 (6)	19 (4)	① 24 (4)	② 18 (1)	14 (1)	① 18 (1)	17 (2)	19	19 (1)	10 (1)			
	道路貨物運送業	① 118 (31)	97 (18)	21	21.6%	17 (7)	21 (9)	9 (3)	① 10 (3)	10 (3)	11 (1)	① 21 (4)	5	7	7 (1)			
	その他の運輸・交通業	25 (18)	20 (10)	5	25.0%	10 (9)	7 (6)	1 (1)	1	1	2 (1)		2 (1)	1				
	貨物取扱	3 (2)	3 (2)	0	0.0%	1 (1)		1						1 (1)				
	農業	13 (4)	15 (2)	-2	-13.3%			5 (1)		1 (1)	2		2 (1)		2 (1)			
	林業	③ 39 (2)	④ 34 (4)	5	14.7%	3	① 6	2	4	① 4	4 (1)	① 5 (1)	4	4	3			
	畜産業	43 (5)	48 (7)	-5	-10.4%	5 (1)	2	3	6 (2)	4	2	7	11 (1)	1	2 (1)			
	水産業	12 (2)	7 (1)	5	71.4%	4 (1)			1 (1)	1	2		2	1	1			
	小売業	② 123 (60)	110 (61)	13	11.8%	28 (22)	① 13 (9)	① 12 (6)	15 (2)	9 (3)	8 (4)	8 (4)	14 (4)	10 (6)	6 (1)			
その他の商業	42 (13)	30 (11)	12	40.0%	6 (6)	4 (1)	5 (2)	4	4 (1)	2	5 (1)	8 (1)	3 (1)	1				
通信業	24 (13)	20 (7)	4	20.0%	7 (6)	6 (3)	5 (3)	1 (1)		3 (1)		1	1					
貸付業	253 (39)	98 (39)	155	168.2%	37 (12)	35 (4)	26 (3)	17 (2)	40 (2)	8 (2)	23 (6)	46 (4)	16 (3)	5 (2)				
その他の保険業	133 (18)	22 (10)	111	504.5%	5 (3)	32 (3)	31 (2)	10	24 (3)	6 (3)	11 (2)	11	3 (2)					
旅館業	28 (14)	12 (7)	16	133.3%	6 (6)	6 (3)	2 (1)	2	3 (2)	4	3 (1)	4 (1)	1 (1)	1 (1)				
飲食店	22 (6)	27 (7)	-5	-18.5%	2	1 (1)	1	1	1 (1)	1 (1)	7 (1)	4 (1)	2	2 (1)				
その他の接客業	7 (3)	① 18 (7)	-11	-61.1%			2 (1)	2	2 (1)		1 (1)							
ピル・メンテナンス業	39 (28)	32 (16)	7	21.9%	13 (12)	4 (4)	6 (2)	2	1 (1)	1 (1)	2 (2)	5 (4)	6 (3)					
その他の(上記以外の全ての業種)	③ 81 (27)	86 (34)	-5	-6.8%	20 (11)	8 (4)	② 13 (2)	① 11 (3)	① 5 (1)	4	3 (1)	7 (2)	6 (2)	4 (1)				
合計	④ 1,482 (389)	⑥ 1,134 (380)	348	30.7%	① 237 (130)	② 218 (64)	⑤ 169 (34)	③ 132 (19)	① 144 (22)	② 105 (20)	② 139 (32)	176 (27)	102 (27)	60 (14)				

(注) 令和4年10月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。

( )内は転倒災害者数(内数)です。

【参考2】 令和4年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和4年1月～10月

岩手労働局

業種	当年累計	年齢別発生状況													
		19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
製造業	食料品	1	8	1	3	1	3	11	2 (1)	4	3 (1)	1	3 (1)		
	水産食料品														
	上記以外の食料品	2	4	3 (1)	6 (1)	2	5 (2)	8 (2)	16 (5)	13 (6)	12 (7)	12 (6)	2		
	繊維・衣服その他繊維製品	7 (3)	1		1 (1)		1 (1)		1	1	1 (1)	1			
	木材・木製品、家具・装備品	① 33 (5)	1	1	1 (1)	1 (1)	6 (1)	① 3	7	3	4 (1)	2	2	2 (1)	
	パルプ・紙、印刷・製本	6 (1)	1	1	1				1 (1)	1	1				
	化学工業	① 16 (3)	1	1	2	2		2 (2)	1	3	① 2				
	窯業土石	10 (3)	1	2	2	1	1	1 (1)	1 (1)	2 (1)			1		
	鉄鋼業、非鉄金属	8 (1)	1	1	1	1	2	1 (1)	2						
	金属製品	25 (6)	1	2	3	2	2 (1)	4 (1)	3	1	1 (1)	5 (2)	1		
建設業	一般機械器具	18 (7)	2	1	5 (3)	3 (1)			2	4 (2)	1 (1)				
	電気機械器具	17 (8)	1 (1)	1	1	4	2 (1)	1	3 (3)	3 (2)	2 (1)				
	輸送用機械製造	9 (4)			1 (1)	1	2 (1)	4 (1)		1 (1)		1			
	電気・ガス	3 (2)		2 (2)		1									
	その他の製造	12 (5)	1	1	1	2	1 (1)	1 (1)	1	1 (1)	2 (2)	1	1 (1)		
	小計	② 290 (80)	8 (1)	22 (2)	16 (1)	23 (7)	18 (3)	30 (8)	① 35 (8)	38 (11)	37 (14)	① 33 (16)	17 (6)	11 (2)	2 (1)
	土木工事	③ 44 (6)		1	2			1 (1)			1 (1)		2	1 (1)	
	鉄骨・鉄筋家屋					2		5 (1)	4	4 (1)	7 (1)	① 8	② 7 (3)		
	木造家屋	25 (4)	2	1	2	3 (1)		3 (1)	1	3 (2)	5	2	2	1	
	その他の建築工事	42 (2)	2	3	3	2		1	2	4 (1)	5	6	8 (1)	2	
その他の建設	① 45 (5)		3	4	2	3	6 (1)	5	6 (1)	3	4 (1)	4 (1)	① 5 (1)		
小計	⑤ 181 (21)	2	11	① 13	7	12 (2)	20 (4)	13	15 (1)	16 (6)	22 (2)	① 24 (2)	③ 23 (6)	3	
道路貨物運送業	① 118 (31)	1	4	7 (1)	3	9 (3)	9 (2)	20 (6)	① 21 (6)	16 (7)	4 (2)	4 (2)	2		
その他の運輸交通業	25 (18)				1				6 (6)	2 (2)	4 (2)	4 (4)	7 (5)	1	
貨物取扱	3 (2)					1				1 (1)	1 (1)				
農業	13 (4)			2 (1)	2 (1)	1			1 (1)		2	1 (1)	1	2	
林業	③ 39 (2)			1	① 2	1	2	5	5	4	6 (1)	① 5	① 5	3 (1)	
畜産業	43 (5)	1	3 (1)	9	4	1 (1)	4	5	5 (1)	9 (2)		1	1		
水産業	12 (2)			2 (1)		1	1	2 (1)	2	1	1	1	1		
小売業	② 123 (60)	1 (1)	11 (1)	8 (1)	8 (2)	8 (6)	5 (3)	8 (3)	① 16 (10)	18 (11)	① 11 (8)	9 (6)	2 (1)		
その他の商業	42 (13)			5 (1)	3	1	4 (2)	4 (3)	8 (3)	5	2	2	2		
通信業	24 (13)		2 (1)	1 (1)	2	1 (1)	3 (2)	2 (1)	4 (4)	8 (3)	1				
社会福祉施設	253 (39)	4 (2)	12	21 (1)	18 (1)	24 (2)	36 (2)	20	37 (6)	34 (13)	29 (8)	7 (1)	9 (2)	2 (1)	
その他の保健衛生業	133 (18)		10	15	11 (2)	20 (1)	22 (4)	13	18 (1)	14 (3)	7 (4)		3 (3)		
旅館業	28 (14)				2 (1)	2	3 (1)	3 (1)	6 (3)	1	4 (3)	3 (2)	6 (3)	1 (1)	
飲食店	22 (6)	2	3 (1)	3	2	1	1 (1)	2	3	3	1 (1)	3 (2)	1 (1)		
その他の接客娯楽業	7 (3)		1	2					1 (1)	2 (1)		1 (1)			
ビルメンテナンス業	39 (28)					2	1 (1)		3	7 (7)	3 (2)	13 (9)	7 (6)	3 (3)	
その他の(上記以外の全ての業種)	③ 81 (27)		1	1 (1)	2 (1)	6 (1)	5	② 14 (2)	8 (1)	12 (7)	① 15 (5)	10 (5)	6 (4)	1	
合計	⑩ 1,482 (389)	19 (4)	80 (6)	① 106 (9)	① 87 (14)	110 (20)	148 (30)	① 146 (24)	② 195 (51)	② 197 (79)	② 168 (63)	③ 108 (42)	④ 93 (39)	25 (8)	

(注) 令和4年10月末の速報値です。  
 ( )内は死亡者数(内数)です。  
 ①内は転倒災害者数(内数)です。

【参考3】

令和4年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

令和4年10月(令和4年10月末の速報値)

岩手労働局

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	25	80	8	17	1	14	62	16	0	0	11	2	1	0	0	2	1	0	18	31	0	290
建設業	56	21	10	17	4	8	18	19	0	0	2	2	0	0	0	0	10	0	9	5	0	181
道路貨物運送業	30	31	8	4	1	5	11	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	0	16	0	0	118
林業	5	2	0	5	4	11	1	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	39
小売業	6	60	5	6	0	2	8	7	0	1	3	0	0	0	0	0	11	0	7	7	0	123
社会福祉施設	5	39	10	1	0	10	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	35	144	0	253
全産業	162	389	65	59	12	64	129	74	1	1	24	6	1	4	0	2	59	3	123	304	0	1,482
	10.9%	26.2%	4.4%	4.0%	0.8%	4.3%	8.7%	5.0%	0.1%	0.1%	1.6%	0.4%	0.1%	0.3%	0.0%	0.1%	4.0%	0.2%	8.3%	20.5%	0.0%	100.0%

令和3年10月(令和3年10月末の速報値)

製造業	17	61	15	9	2	14	75	24	0	0	10	4	0	0	0	0	2	0	21	2	0	256
建設業	62	25	10	18	3	9	18	15	0	0	3	1	1	0	0	0	10	0	9	7	0	191
道路貨物運送業	33	18	8	6	0	5	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0	0	97
林業	1	4	0	6	2	10	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	34
小売業	7	61	4	1	0	1	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	16	0	0	110
社会福祉施設	3	39	5	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	26	15	0	98
全産業	171	330	61	52	9	67	138	71	0	0	23	7	1	0	0	0	57	0	114	33	0	1,134
	15.1%	29.1%	5.4%	4.6%	0.8%	5.9%	12.2%	6.3%	0.0%	0.0%	2.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.1%	2.9%	0.0%	100.0%

<差分>

製造業	8	19	-7	8	-1	0	-13	-8	0	0	1	-2	1	0	0	2	-1	0	-3	29	0	34
建設業	-6	-4	0	-1	1	-1	1	4	0	0	-1	1	-1	0	0	0	0	0	0	-2	0	-10
道路貨物運送業	-3	13	0	-2	1	0	3	-1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	7	0	0	21
林業	4	-2	0	-1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-1	0	1	-1	0	5
小売業	-1	-1	1	5	0	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	5	0	-9	7	0	13
社会福祉施設	2	0	5	0	0	10	0	0	0	0	-1	1	0	0	0	0	0	0	9	129	0	155
全産業	-9	59	4	7	3	-3	-9	3	1	1	1	-1	0	4	0	2	2	3	9	271	0	348